

# ぱる通信

地域精神保健福祉コミュニティー誌

10  
No. 213  
Oct. 2015



特集:「農村地域の魅力をチャンスに活かす」  
～山村エンタープライズの取り組み～



# 若者が踊って暮らせる農村をつくる！



## 特集：農村地域の魅力をチャンスに活かす

### ～山村エンタープライズの取り組み～



今月の特集では、人口減少が加速し「限界集落」と呼ばれている、岡山県北端の美作市梶並地域では、若者の移住が年々増え、その中には、ひきこもり・ニートと呼ばれていた人たちもいる、という情報をキャッチしました。そこで、ひきこもり支援センター「あすてっぷ」のスタッフ2名でその実態を探るべく、「特定非営利活動法人山村エンタープライズ」代表理事の藤井裕也さんにお話を伺いました。

過疎高齢地域に  
若者を呼び込む

岡山県北部にある美作市梶並地区で、地域の人々や行政と歩調を合わせながら、独自のアイデアで地域おこしを仕掛ける藤井裕也さんを訪ねました。

美作市梶並地区は、岡山県の最北端に位置しています。温暖な気候といわれる岡山県でも、冬はマイナス七度まで下がり雪に埋もれてしまうという、厳しい気候の土地です。人口七百人の集落の高齢化率六十％、四五〇軒のうち空き家は二百軒に及ぶという過疎高齢化集落です。



美作市梶並地区

岡山市中心地から車で約二時間、山々に囲まれた、穏やかな農村地域



NPO 法人山村エンタープライズ

代表理事 藤井 裕也さん

にある「山村シェアハウス」を尋ねました。運営母体である「特定非営利活動法人山村エンタープライズ」では、二〇一二年から地域と地域外のつなぎ役として、独居高齢者の為の福祉事業、山村地域への若者の移住促進を図るための仕事づくり、地域資源を活かしたひきこもり・ニート状態にある若者自立支援など、地域課題と社会課題の解決に取り組んでいます。

地域活性化のために様々なことにチャレンジされている「山村エンタープライズ」のプロジェクトについて、代表の藤井裕也さんにお話を伺いました。

藤井裕也さんは、岡山県岡山市生まれ。小学校から大学、大学院まで同市で過ごしました。岡山大学大学

院では考古学研究を行いながら、アジア各国を中心に教育支援の活動を展開。ネパール山村での体験を機に日本の田舎暮らしに関心を持つようになり、地元岡山山の田舎を回り始めました。そこで、美作市上山地区で八三〇〇枚の棚田を再生させようとする若者たちに出会い、地域おこし協力隊の一員として二〇一一年から限界集落を「集落」と活動を始めました。

### 新しい働き方を提案 アイデアを形に



地域おこし協力隊は、人口減少や高齢化などが深刻化する地方に地域外の住民を受け入れ、定住・定着を目指す活動のことです。なかでも、岡山県美作市上山は、地域おこし協力隊のパワーがあり、成功例として全国各地から注目を集める地域です。

当時、上山地区で地域おこし協力隊として活動していた藤井さんに、地域住民の有志でつくる梶並地区活性化推進委員会から、「ぜひ、藤井さんに来てほしい！」と要請を受け、一年間活動した地域おこし協力隊を離れて、梶

並地域に移住し、一人暮らしを始めました。

藤井さんが目指したのは、地域での新しい働き方を作り出し、若者が「踊って暮らせる」実例を示すことです。地域おこし協力隊OBとともに「特定非営利活動法人山村エンタープライズ」を設立し、本格的に活動を開始しました。

地域づくりは包括的に考え、教育、福祉などトータルで見ていくことが必須となります。しかし現実には、小さな地域内でさえ、分野ごとの縦割り行政になっており、連携は難しい状況です。

「横をつなげていくのが私たちの役割と思っています。地域づくりと教育、地域づくりと福祉といった感じですね。高齢者、独居老人をどのように地域で見守っていくか、皆が住みやすい地域をどのように作っていくのか、という課題はどここの地域でも同じです。地域との繋がり、地域の中で生きていくというのを意識的にやっています」。



### 「自分ができる」を生かして 「仕事をつくる」という視点

活動するにあたってまず取り組んだことは、梶並地区に多くある空き家をシェアハウスとして活用し、都会からの移住希望者を受け入れる入口として活用するという、「山村シェアハウス」の開設です。

さらに、移住希望者の生活費を生み出すための仕事を紹介するため、「山村ハローワーク」を開設し、地元の人から頼まれた農作業や草刈り作業を請け負い、冬場には木工品作りなどをし、それぞれ製作所への勤務や特注品開発、古民家改修など、得意分野を生かした仕事をして生計を立てるといって、画期的な取り組みを開始しました。梶並地区活性化推進委員会との連携のもと、移住者を確実に増やしてきており、これまでに約三十人の移住者を呼び込んでいます。

### ひきこもり、ニートの若者を 再生につなげる

「山村シェアハウス」の活動を皮切



空き家を改修してみんなで作った「山村シェアハウス」

りに、地域でひきこもり・ニート状態にある若者を受け入れる「人おこし」プロジェクトを開始しました。数年間ひきこもっていた同世代の若者がシェアハウスに住みながら、耕作放棄地の再生や空き家の改築、地域高齢者の御用聞きを行います。若者の社会的自立を支援するプロジェクトで、一日から三カ月間までの合宿形式の短期集中期間での受け入を行っています。

「ここでの生活リズムは大事にしています。一カ月もいると体力がつき、朝はきちんと起きるようになります。日々自然と接している環境ですし、シェアハウスの中で、自分の居場所を作





取材時行われていた、稲刈りの様子。

**自分のペースを大切に  
誰もが挑戦できるチャンスがある**

らないといけない大変さもあります。みんなで協力して生活していく中で、自分の居場をどう作っていくかは自然と身に付いていきます。農作業もみんなで協力すれば、おいしいお米が食べられます。動かないとここでは何も起こりません」

最初、本人の意思で来ることは少なく、親御さんに連れて来られたり、時には藤井さんの目の前で親子喧嘩が始まることもあったそうです。

「山村シェアハウス」の仲間感覚を大切に、無理に促すことはせず、きっかけを自分自身で活かすことが出来るよう促しを行っています。



「私たちから無理に復帰させているわけではなんですよ。自分のいいタイミングで復帰したらいいと思っています。ずっと居たければいいというスタンスです。でも、チャンスはタイミングを見て提供していかねればと思います。私たちのネットワークでなら居場所が出来ても、そこから社会に出た時に居場所が出来なければしんどい思いをするでしょう。だからなるべく外に早く出て欲しいと思っています。ただ、基本は本人のタイミングに任せています。」

高齢者が多い地区では、「若者」というだけで重宝されるのだそう。地域高齢者の御用聞きを行う中で、電球の交換から雪かきまで、様々なことを頼まれます。その頼みにしつかりと応える経験が続いていると、自然と必要とされる実感が湧き、喜びを実感し生きていく力にもなります。

「ここでは地域の中で新しいことをつくっているという実感があるの、仕事においても、新しいことにチ

ヤレンジするのが楽しいのかもしれないですね。私たちも常に一番最先端でやりたいと思っています。そういうところに共感してくれているのではないのでしょうか。」

介護をやりたいと言って地域の介護施設に就職したケースやゲーム開発の勉強がしたいということでその道に進んでいったケースもあり、卒業後の進路は様々です。

地域で育てられ、自分のやりたいことを模索し、自分の居場所をつくることで元気になり、自分の能力を発揮することが可能となるのです。「山村シェアハウス」は、地域ならではの特徴を生かすことで、ひきこもりやニートの若者の自信回復の場所となったのです。



**「ひきこもり」に対して存在する  
地域住民の誤解や偏見**

今後、「人おこし」プロジェクトの拠点となる、二十人くらい入れる建物も借りることが出来、十月から改修して

いく予定です。しかし地域によってはひきこもり状態にある若者たちを受け入れることに抵抗があるのが現状で、予定していた拠点を他の部落に移動させたそうです。

「今の部落は受け入れ態勢があつたから大丈夫だと思いましたが、彼らの事を理解してもらう事はきちんとやっていきたいと思っています。私たちは、今まで自由にひきこもりの若者を受け入れてきました。その中には、地域では受け入れられにくい若者もいました。発達障がいのある若者なども受け入れてきましたが、受け入れ場面では専門家に入ってもらい、情報共有をしつかり行ないます。本人にとって良い場所になるかなど判断基準にして、その都度受け入れるかどうか決めています」



ススキが揺れ、秋の装いの山々

現在、日本におけるひきこもり・ニートと呼ばれる人は、内閣府の推計によると全国で七十万人と言われるひきこもり・ニート予備軍とされる人は一五五万人との驚くべき数字も発表されています。ひきこもり状態が長期化、高齢化していることが、現在のひきこもりの特徴です。

今後、ひきこもりやニートの状態にある若者や、ひきこもり等の状態になるおそれのある若者を支援するための仕組み作りが求められています。

「県内でもひきこもりの方の受け入れをしているところもあるので、連携していきたいです。今後、彼らの働き方を広げていきたいですね」。

## 失敗しないと分らない 「トライ&エラー」の繰り返し



「山村シェアハウス」、それに連動するお仕事紹介の「山村ハローワーク」、「人おこし」プロジェクトの他にも、「山村ワーキングホリデー」に「山村オーガニックファーム」、「民芸新時

代」など、数々の活動を同時進行しています。

『事業の基本は自分たちで考えますが、地域のネットワークにより、活動のほとんどを周りの方々に手伝ってもらっています。今後は他の空き家も改修していかなければならないので、スキルは地域の木工や左官、板金建築の人などを先生として教えてもらっています。電気や下水以外は、ほぼ全て手作りです。「こんなことがしたい」って周りに声に出して伝えていくと、なぜかみんなが助けてくれるんです。学生上がりで経験がない分、苦労もしましたが、失敗しないとわからないこともたくさんあります。「トライ&エラー」を繰り返してきました。地域おこし協力隊の中ではナンバーワンじゃないかな、っていうくらい失敗しましたよ(笑)。でも、今一緒に事業をしているスタッフは、自分のブランドを持つているデザイナーや、プロのカメラマンという、奇跡的なスタッフが集まりました。地域と人に支えられて、今があると思っています

活性化のための様々なチャレンジが出来るのです。過疎地区に抱える問題の中から価値を見出し、チャンスに変えていくための新しい取組みを次々と形にしていく藤井さんの強いパワーが、更に新たな若者を呼び寄せていることを実感することができました。

### 若者たちの「リカバリ」

「あすてっぶ」 大平 由紀



様々な思いが交錯するなか、確かに感じた高揚感を胸に美作を後にしました。

「トライ&エラー」で新しいことにチャレンジ！  
「あすてっぶ」 丸橋 由希恵

本当に田舎で若者たちが活動しているのか？というのが最初の感想でしたが、楽しそうに稲刈りをしている若者が何人もいました。藤井さんに案内をして頂いている最中も近所のおいちゃんや軽トラを止めて声をかける光景、私から見るとなんとも不思議な光景でしたが、いつもの光景なんだとか。話をしてくれる藤井さんは「次は何をしようか？」と先の先を考えていて、話をしている顔はとても楽しそうでしたし、私も聞いていてワクワクしました。「人が元気になるばい」と思う藤井さんの気持ちには共感でき、スタッフ自身もそれぞれの特技を活かし、『トライ&エラー』を繰り返しながら新しい事にチャレンジしていました。私も発信する力、新しい事にチャレンジする力を改めて学ぶことができました。





# 投稿コーナー

朝夕と日中の温度差があり、長袖の服を着ることが増えて、秋だな～と思いました(^u^)  
温かいものも美味しい季節になってきましたね♪  
みなさんは何で秋を感じましたか？

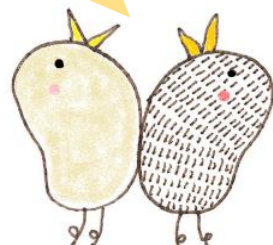
「続失デビュー10周年」

vol. 3 ふじ一歩



英聖さん作 『春夏秋冬』

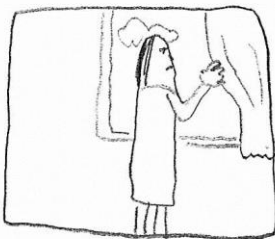
## ぱるっ広場



感想・投稿 募集中!

詩、俳句、絵、ジャンル不問です。郵便、メール、fax 等でご投稿下さい! 待ってます★

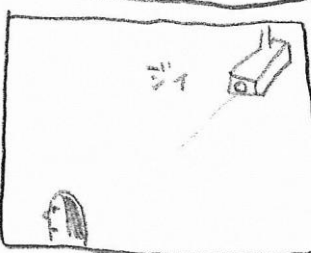
世界が



大型の舞台セット  
に見える



かくしカメラで  
撮映されていて  
どこかで皆が見てる  
気がする



世界に1人だけ  
の主人公みたいだ



『ぼくたち、わたしたちの希望のうた』

みんな希望を持って楽しく行こう  
未来に向かって行こう  
ぼくたち、わたしたち楽しく行こう  
希望を持って、楽しくね  
みんなで希望を持って行こうよ  
ハハハあーぼくたち、わたしたち希望のうたよ

作詞 ハニイ



「歌番組を見ました。私は今、歌番組にはまっています。」  
坂本友加より

古楽日和

藤井健喜

先月号で『大脱出』という映画についての個人的な感想を述べた。このとき筆者は、この映画は資本主義と民主主義のあり方について問いかける作品だと書いた。そこで今回は資本主義と民主主義について考えてみたい。

そもそも資本主義というのは、さまざまな事業をおこなうために資金を集め、その資金を元手として事業をおこない、それを社会の発展のために活かしてゆくというシステムである。ここである社会の発展とは、すなわち世の中に暮らしているひとたちが、幸福に生活していけるようにすることだ。であるから社会の発展を阻害するものに対しては、これに對抗しなければならぬ。ひとびとを不幸に陥れるひとや事柄は、そのもつともたるものである。

ゆえにテロリストなどの凶悪犯罪者に対しては、厳しい罰則を与える。そして場合によっては、彼らを死刑にすることもやむを得ないとする。国民の大多数が「テロリストは死刑に処してもいい」と考えているとすれば、実際政府はその国民の意思に沿って、テロリストを死刑に処するだろう。だが国民の意思が、自分たちに害を与える者に対して、問答無用にならなければならない。しかもその動きが民主主義のルールにのっとったものだったとしたら?

それは民主主義ではないというひともいるだろう。だがこれも民主主義の姿なのである。(次回に続く)

# ちょうフェス通信



## 第13回実行委員会開催！

ついに目前と迫ってきた『調子はえんじゃフェスティバル』ですが、9月15日、きらめきプラザにて第13回実行委員会が開かれました。所属を越え、岡山県内に住む当事者・支援者など14名が集まりました！

### 各班の進行状況を報告...！

- ・ **ムービー班**...「ありがとう2〜<sup>こころ</sup>愛を伝える映画」完成に向けて編集作業を行っています。追加の映像や音楽を撮りに行っています。10月末に試写会予定。
- ・ **出し物・出店・展示班**...出し物希望が9カ所、出店が12カ所となりました。10月1日に出店者向けに現地(旧内山下小学校)にて説明会を開催しました。
- ・ **講演・シンポジウム班**...現在シンポジウム「私色の元気の紙飛行機を飛ばそう」にて「こんなことをしたら調子がええこと」を公募にて募集を行っています。紙飛行機の飛ばし方について、実際に飛ばしたほうがいいか、壁に貼って共有できるようにした方がいいのか熱く話し合われました。シンポジスト(家族の方1名、精神科医1名)が決定しました！現在当事者3名を調整中です。

### 場所の使い方を話し合ったよ

体育館にて舞台イベント、講演会、シンポジウムを行い、旧校舎2階で飲食の販売や作品展示販売を行い、3階では、映画上映に当事者の交流スペースを設置しようと具体的な場所ふりとスケジュールを話し合いました。

### オープニングは「うらじゃ」に決定！フィナーレは・・・

オープニングは「うらじゃ」を踊ってもらうことに決定しました！熱い開幕となりそうです♪フィナーレについては、自主制作映画「ありがとう2」の主題歌を歌って下さっている oyuu(おゆう)さんに歌って頂こうということとなりました！

### 今後の活動について **プチサポーター募集中！！**

☆ムービー班：10月13日(火)16:30～編集会議 ジョブサポートセンターあすなろにて

☆出し物・展示・出店班：11月5日(木)16:30～(予定) ぱる・おかやまにて

☆講演・シンポジウム班：10月30日(金)10:00～ぱる・おかやまにて

**★ボランティア・サポーター向けに説明会を開催！10月31日(土)13:30～**  
**ボランティアに関する問い合わせ先→万成病院 柏原・菅原まで(tel086-252-2261)**

### 11月15日当日(内山下小学校)の「出店まだまだ大募集!!」

次回実行委員は10月27日(火)13:30～きらめきプラザです。



## フットサル

### 全国大会を終えて…

一〇月三日(土)に名古屋のテバ・オーシャンアリーナで第一回ソーシャルフットボール全国大会が行われました。今回は『岡山県精神障害者フットサル普及検討会』のあすなるスタッフと選手としてあすなるメンバーが参加してきました。現地の天候も良く選手たちのコンディションも好調でした。

いよいよ初めての計三試合の公式戦。初戦及び二試合目は惜しくも敗れ、決勝トーナメントに上がりませんでした。だが、予選リーグ内で三位決定戦を行いました。

最後の試合という事でみんなの緊張も少し落ち着き、攻守ともに良い試合となりました。試合は二対一ともつれ、PKとなりましたが、キーパーのファインセーブもあり、二対一でPK戦を制し、初勝利を飾ることが出来ました。

全試合を終えて、「スツキリした」「課題が残ったと感じた」等の思いがみんなから出てきました。「でもやっぱり負けたら悔しい、勝つたらうれしかった」という思いはみんな同じでした。

まだ岡山の精神障害者のフットサルは始まったばかり。まだまだこれからです。選手の皆さん本当にお疲れ様でした。また来年も楽しみにしています。



イベント

## やまのぼり

例年多くの方が楽しみにされている山登りですが、今年は立て続けに悪天候に見舞われ、山に登れないことが続いてしまいました。そこで、再度一〇月に山登りを計画致しました。

◆平成二十七年一〇月二日(水)

◆集合は、表町九時。又は本部九時一五分。

◆本部出発九時半。(九時一五分から点呼)

◆行先は佐伯天神山。

◆参加費は無料。事前申し込み要。

◆持ち物は、**昼食と飲み物**(五百ミリリットル以上)、レジャーシート。

◆雨天の場合、中止。(中止の場合は個々に連絡します。)

◆コースは選択できます。

①急登チャレンジコース。(必ず運動靴とリュックサックをご用意ください)

②のんびりコース

◆帰着十五時予定。

◆締切十月一四日(水)

申込用紙は  
あすなろに  
置いてます!

～お問い合わせ～

担当：大平、岡田、山口

TEL : 086-201-1432



## ぶどう狩り～あすなる家族の会主催～

十月二日(金)に毎年恒例の「ぶどう狩り」を開催しました。参加者は、家族会の方が七名、メンバーが二十三名、他職員等が八名の総勢三十八名と多くの方が参加されました。この日のために、とてもおいしいぶどうを作って下さったのは「あすなる家族」の会会長の小森さんです。普段はなかなかできないぶどうの食べ比べもできました。オーロラブラック、ピオーネ、桃太郎ぶどう、マスカット等たくさんの種類のぶどうを頂くことができました。さらに団子入りの豚汁振る舞われまして。食前にぶどうを食べ、おにぎりと豚汁でお腹を満たした後にも、デザートでぶどうとなんとともぜいたくな食事をみんなで楽しくいただきました。今回も多くの方を受け入れて下さった小森さん、本当にありがとうございました。





## 「焼き菓子と雑貨 MOMO」

中山下にOPENしました♪

Cafe MOMO 焼き菓子部門が中山下へ移動しついにOPENしました！九月に行いました見学会にお越しくださった皆様、ありがとうございました！  
た●見学会イベント三日間の五〇〇円ランチも大好評で連日完売でした。

「焼き菓子と雑貨MOMO」では、美味しい焼き菓子、素敵な雑貨をご用意しています。皆さまぜひお越し下さい！

そしてCafe MOMOではご好評により現在五〇〇円ランチも提供しています。美味しいコーヒーもあり★メンバーも募集中です♪

お問い合わせ Cafe MOMO

TEL: 086-201-1718



## びい あらいぶとの交流会

九月一八日(金)、福山の特定非営利活動法人「びい あらいぶ」さんがスタッフを含め約三〇名で来られ、あすなる福祉会を見学した後、「ピアセンタークローバー」のピアサポーターと、倉敷にある「小規模作業所 集いの杜まりも」のピアスタッフとで各事業所の紹介をし合い、WRAP(らっぷ:元気回復行動プラン)を交えての交流会を催しました！

あすなる福祉会とは古くからの縁もある、「びい あらいぶ」さんですが事業所の紹介では各々でどう活動したり、過ごされているのか紹介してくださり、とても生き生きとされている様子が伝わってきました。WRAPを交えての交流会では「自分の地域の好きな場所」や「私の元気の道具箱」を出し合い有意義な時間となりました。  
「びい あらいぶ」さんからの感想として、WRAPに初めて触れ、体験し「びい あらいぶ」でも「年二回はやらなくては！」と声が上がっているとのこととても嬉しく感じました。またこのような素敵な交流ができればと思います。  
「びい あらいぶ」の皆さん本当にありがとうございました。



模造紙や付箋をつかって交流★

## 九月『癒し場』開催しました♪

～発達障害や対人関係が苦手な人の癒し場～

九月三〇日(水)八名の参加で『癒し場』を開催しました。話し合ったテーマは、『一人になった時に気分を上げる方法を教えて欲しい』『他人からの誤解を、どう対処したら良いの?』『ダイエット:『みんなの趣味は?』『家族とのトラブルが多い、家族って何なの?』の5つでした。そこで今月はイトコサガシをお休みをして、みんなで『家族と上手くいかない人に対して一言』を出し合いました。『自分は自分、家族は家族、親は親』『よそはよそ、うちはおうち(笑)』『貴方は貴方の人生を歩んだら良いですよ』『マイペースでいい』『いつか自立しよう』『距離をとりたければとり、近くなりたければ近付き自分でやろう』『家族は生まれつきの他人である』『幸せになりましょう』と、それぞれの過去や境遇からくる個性溢れる言葉が色々と出ました。またを皆さんに『秋と言えば○○』を挙げて頂きました。『スポーツ観戦の秋(F1、プロ野球、フィギュアスケートなど)』『BBQ』『紅葉を見る(一番は白川郷、身近では後楽園)』『食欲の秋(焼きいも、焼かないけど炊飯器を使ってふかす)』『塩さんま(醤油も大根も無くても良く、内臓も含め限界まで食べれる)』『睡眠の秋(二〇時から眠くなる)』『温泉に行きたい(近場のシーサイド温泉が大好き)』などの発言がありました。おかげさまで一〇月で『癒し場』は一周年を迎えました。これまで参加して頂いた方一人一人のおかげです、心から有難うございます。そこで一〇月の『癒し場』は、あすなるから出て野外でマシマロバーベキューパーティーをしたいと思えます。そして今まで皆さんから出して頂き、話し合ったテーマを振り返っていききたいと思えます。また『皆さんにとって出合いとは?』というテーマを共有(おしゃべり)出来たらと思っています。今まで参加された方は勿論、多くの方の御参加を御待ちしています。

### ◆次回予定◆

10月14日(水)13時～

多くの方の御参加を心からお待ちしています。見学・途中参加も歓迎です！

\* 他の参加者を批判したり改善を強要しない事を第一のルールにしています。

# INFORMATION

## 10月の予定

10月		
9	金	ソフトボール 15 時
10	土	
11	日	
12	月	体育の日
13	火	芸術活動 13 時
14	水	WRAP10 時 癒し場 13 時 つどい 13 時 30 分
15	木	
16	金	図書館サークル 10 時 ソフトボール 15 時
17	土	眼鏡っこ 13 時 30 分
18	日	
19	月	
20	火	卓球サークル 13 時あすなろ出発 13 時 30 分現地集合
21	水	山登り
22	木	お菓子づくりサークル 13 時
23	金	* スタッフ研修のためお休みします *
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	芸術活動 13 時
28	水	WRAP10 時
29	木	女子会 14 時
30	金	手芸サークル 13 時 ソフトボール 15 時
31	土	手話サロン 11 時 お抹茶教室 14 時 鉄っちゃんサークル 13 時
11月		
1	日	
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	ソフトボール 15 時

※プログラム・サークル活動に参加するには、すべて前日までに連絡が必要になります。参加者が多い場合には前日より早く締切らせていただくこともあります。早めにご連絡ください！！

※日程が変更になることもありますのでご確認ください。

- 発行：社会福祉法人あすなろ福祉会
- 〒700-0822 岡山市北区表町 3-7-27
- 編集：ぱる・おかやま
- TEL:086-201-1720 FAX:086-201-1713
- E-mail:pal-oka@mx35.tiki.ne.jp

9・16・30・11月6日(金)

●◎○ ソフトボール ○◎●

みんなで楽しみながら、外で体を動かそう(^o^)

時 間 15 時～17 時

場 所 百間川グラウンド

※送迎希望の方は必ず事前連絡を！

※自転車やバイクでのグラウンドへの乗り入れはご遠慮ください。

めがね  
17日(土) 眼鏡っこ Art of Asunaro

漫画・小説・絵・詩などを書くこと  
読むのが好きな人の集い★

自分を書いたり、描いたりしたものを誰かに見てもらいたい人や、見たり読んだりするのが好きだから作品を是非見たいという人集まれ～♪

もちろん眼鏡なくてもOK！

時 間 13 時 30 分～

場 所 ジョブサポートセンターあすなろ

14日(水) ❀ 癒し場 ❀

発達障害・人間関係で悩んでいる人のいやし場

自分を受け入れてくれる誰かを探していませんか？

時 間 13 時～

場 所 ジョブサポートセンターあすなろ

21日(水) 佐伯天神山にみんなで行こう♪

リベンジ！！！！！！

\* \* \* 山登り \* \* \*

集合場所と時 間 あすなろ表町 9時

中区浜本部 9時15分

※帰りは 15 時頃、本部に帰着予定

山登りの場 所 佐伯天神山

参加費 無料

申込み締切 10月14日(水)

### <10月のピア電話相談日>

	火	水	木	金	土
	6	7	8	9	10
AM	○	休	○	○	○
PM	○	休	○	○	○
	13	14	15	16	17
AM	○	休	○	○	○
PM	○	休	○	○	○
	20	21	22	23	24
AM	○	休	○	休	休
PM	○	休	○	休	休
	27	28	29	30	31
AM	○	休	○	○	休
PM	○	休	○	休	○

ピア電話相談とは  
同じような病気の経験をしたピサポーターグループクローバーが、お電話であなただけのお悩みをお聞きしています

ピア  
電話相談  
(086)  
201-1719

お気軽におかけ下さい！